スポーツ業界の“Withコロナ”、“Postコロナ”

―変化はチャンス！ピンチはチャンス！
危機の時代の経営とは！？―

新型コロナウイルスの影響で、世界中でスポーツの試合のほとんどがストップし、
今年開催予定だった東京オンピック・パラリンピックも史上初の延期となりました。

徐々に感染対策取ったうえで、試合が再開され始めていますが、コロナの影響を最も受けている業界の一つがスポーツではないでしょうか。

スポーツビジネスにおいては、ビジネスモデルの根本からの改革が急務となっていますが、
経営者として「変化はチャンス」「ピンチはチャンス」と、どうやってこの壁を乗り越えていくか、日本だけでなく世界を舞台にスポーツビジネスに係る経営者に、現在の状況や今後のビジョンを伺います。

スポーツ業界以外の方も**“これまでの常識が通用しない”**状況の中、
どのように経営の舵取りをしていくか、とても参考になる内容ですので、是非ご参加ください！

NBC会員以外の方も参加無料！

＜開催日時＞
９月８日（火）１９:００～

＜開催方法＞
オンライン（ZOOM）

＜登壇者＞※裏面にて略歴掲載※

・中村武彦氏　Blue United Corporation President & CEO

・是永大輔氏　アルビレックス新潟 代表取締役社長

・井川幸広氏　㈱クリーク・アンド・リバー社　代表取締役社長
(一社)東京ニュービジネス協議会会長

お申込みはこちらから

https://forms.gle/L7zKUqGEoVdt1q4K8

右上のQR コードからもお申込みサイトに接続できます！

■講師プロフィール

中村武彦（Takehiko Nakamua）

Blue United Corporation President & CEO

「日本スポーツビジネスの発展と国際化に貢献」を掲げ2015年にBlue United Corporationを創設。
アメリカプロサッカーリーグMILSにて、日本人として初めてMILS国際部に勤務し、現在も選手契約・国際事業コンサルタントを務めている。さらに、鹿島アントラーズ・グローバルストラテジーオフィサー、大宮アルディージャ・グローバル強化担当、パシフィックリーグマーケティング国際事業開発担当・スペシャルキャリアアドバイザー、エンゲート株式会社グローバルパートナーなども務める。

過去には、FCバルセロナ国際部ディレクター（北米・アジア・オセアニア担当）として活動。
2012年にはFIFAマッチエージェントライセンスも取得。2018年にＪリーグとMLS、メキシコ環太平洋のプロサッカーリーグがハワイで対決するパシフィックリムカップを創設。
同年、プロeスポーツチームの「Blue United eFC」も立ち上げた。
2020年から東京大学大学院工学系研究科と共にスポーツビジネスの共同研究にも携わる。また、日本最大級のスポーツビジネスメディアハーフタイムが運営するハーフタイムアカデミー学長に就任。

是永大輔（Daisuke Korenaga）

アルビレックス新潟 代表取締役社長

1977年千葉県生まれ。2002年日本大学芸術学部を卒業後、IT企業でサッカーメディア事業に携わり、サッカージャーナリストとして欧州を中心に世界各国で取材を行う。2008年29歳でアルビレックス新潟シンガポール社長に就任。当時赤字に苦しんでいた経営をスクール事業、飲食事業、カジノ事業など多角化で黒字転換し、売上規模も50倍に拡大。チームも強化し、2016~2018年の3シーズン連続で国内タイトル全制覇を成し遂げた。マレーシア、スペイン、タイ、カンボジア、ミャンマー、香港でサッカーとヘルスケア・ウェルネス関連事業を拡張。2019年アルビレックス新潟代表取締役社長に就任

井川幸広（Yukihiro Ikawa）

㈱クリーク・アンド・リバー社　代表取締役社長／
（一社）東京ニュービジネス協議会会長

1960年生まれ。佐賀県出身。毎日映画社にて1年間勤務した後、独立。文化映画やテレビの監督•ディレクターとして数多くのドキュメンタリー番組を手がける。一方で企業のマーケティングのコンサルティングなどを経て、1990年3月、株式会社クリーク・アンド・リバー社を設立。
現在、17のグループ会社で、30万人のプロフェッショナルをネットワークし、国内17カ所、海外4カ所に拠点を有してエージェンシー・プロデュース・ライツ事業を展開している。
2000年NASDAQ Japan（現：JASADAQ）上場、2016年東証一部。

2004年、Jリーグ・サガン鳥栖の再建の要請を受け、2005年に新会社の株式会社サガン・ドリームスを設立し代表取締役に就任。サッカー文化を通じて「人づくり・まちづくり・夢づくり」の理念をより具現化すべくクラブの経営に尽力した。2012年チーム初のJ1に昇格。ホームタウンとしてJリーグ最小人口であるものの、2万人を集客する地元に根付いたクラブチームとなった。
J1昇格後、取締役を退任。経営からは退き、現在はいちサポーターとしてサガン鳥栖を東京から応援している。
2020年3月クリーク・アンド・リバー社にてアスリートのセカンドキャリア・デュアルキャリアをサポートし生涯価値を高めることをビジョンに新規事業を立ち上げている。

お申込みはこちらから

https://forms.gle/L7zKUqGEoVdt1q4K8